

わたしの地域生活

グループホーム・ケアホーム
生活に関するアンケート調査

平成22年1月

福島県障がい者総合福祉センター

福島県知的障害施設協会

あ い さ つ

この度、平成5年度から続けてまいりました福島県知的障害施設協会と県福祉行政機関との共同研究事業の第10期目にあたり、「わたしの地域生活—グループホーム・ケアホーム生活に関するアンケート調査」（報告書）を発行することになりました。

福祉行政は、この十数年、障害福祉施策の変化に伴い、知的障がい者の地域生活移行推進に努めてまいりました。その流れは、入所施設からグループホーム等への移行を目指してすすめられてきた傾向にあります。地域生活移行実現のための最も有効な受け皿としてグループホームが位置づけられてきました。

『障害者自立支援法』が施行されて3年、日中活動と分離した障がい者の生活の場としては、施設への入所か居住支援サービス（グループホーム・ケアホーム）の利用となります。3障害（身体障がい・知的障がい・精神障がい）共通のこの新しい居住支援サービスにおいては、事業者サービス管理責任者を配置し、個別支援計画を作成した上で、支援していくことになりました。その仕組みを考えると、脱施設、障がい者の居住の場の拡大という従来からの流れは変わっていないと考えられます。さらに、ケアホームの創設により高い介護ニーズをもっている障がい者も利用できるようになりました。そこで、今この時期に、知的障がい者の豊かな地域生活を支える上での課題は何かという原点に立ち返って、グループホーム・ケアホームでの生活を見つめ直したいという考えから今回の調査となったところです。

知的障害者施設協会と共同でグループホーム・ケアホーム生活に関するアンケート調査を行いました。この報告書がグループホームを利用している方の生活を改めて考えるきっかけになればと願っております。

多忙な業務の中で調査研究にあられた専門委員の皆様に深く敬意を表するとともに、ご協力をいただいた当事者の方々に感謝申し上げます。

今後とも、県の知的障がい者福祉施策の推進のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願いいたします。

平成22年1月

福島県障がい者総合福祉センター
所 長 山 田 善 治

はじめに

更生施設分科会は、福島県知的障害施設協会に所属している入所更生施設分科会と通所更生施設分科会の合同協議会として平成5年度から活動を展開してきました。当初から、知的障害者福祉サービスの質の向上を図ることを目的に、福島県福祉行政機関との共同活動を行ってまいりました。その内容は、行動障害児者の実態調査、高年齢者と長期入所者の実態調査、援助事例集、ホームヘルプサービスマニュアル、施設利用者の人権擁護、地域生活コミュニティケアなど、その時代背景を受けて調査研究活動に取り組んできたところです。

平成20年度からの2カ年の活動として、障害者自立支援法が掲げた「入所施設から地域生活へ1万人移行」ということを考えました。現実的には、地域生活移行の受け皿がグループホームであるわけですから、今ここで生活されている人の声を聞き、課題を整理する必要があるのではないかということで、今回の調査となりました。そこから見えてきたのは、「地域生活」という夢と現実の姿のギャップではなかったかと思われまます。そのような中でも、「楽しい」という声でした。

おりしも平成22年1月、新政権は、「障がい者制度改革推進会議」を立ち上げ、障害者自立支援法に代わる総合福祉法（仮称）の検討に入りました。そこでは、「地域で当たり前の生活」を目的に、障がい当事者が参画して議論されようとしています。

今回の調査が、グループホーム関係者だけでなく、入所施設関係者、地域生活を支えている通所施設関係者をはじめ、多くの方と共に、グループホーム等での生活の実態の一端でも共有出来ればと思います。

最後に、今回の調査にあたって、業務多忙の中でご本人への説明や事業者用アンケートの記入などにご協力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。さらに、訪問聞き取りのご依頼に当たりましたも、快くご承諾いただきましたことに重ねて感謝申し上げます。

平成22年1月

福島県知的障害施設協会
更生施設部会（入所・通所更生施設分科会合同協議会）
部会長 遠藤孝松

目 次

I	目的	1
II	調査対象と方法	1
III	結果と考察	2
	概要	
	1. 収入の状況	
	2. 支出の状況	
	3. 休日の過ごし方	
	4. 夜の過ごし方	
	5. 旅行	
	6. レクリエーションやお祭り参加	
	7. 人との交流	
	8. 衛生面	
	9. 日中活動	
	10. 食事の好き嫌い	
	11. グループホーム等の好き嫌い	
	12. 将来暮らす場所	
	13. 健康管理	
	14. 各種支援	
IV	グループホーム等聞き取り調査	17
V	まとめ	32
VI	資料	34
	1. 調査研究に関する協力依頼 趣意書	
	2. 利用者に対するアンケート調査用紙	
	3. 事業所に対するアンケート調査用紙	
	あとながき	41

この報告書に記載されている合計数は、設問ごとに不明回答を除いているため、他の設問項目の合計と合わない場合もあります。

グループホーム・ケアホーム生活に関するアンケート調査報告

I 目的

施設入所者が地域の中で、普通の暮らしをするための第一歩として、グループホーム・ケアホーム（以下「グループホーム等」と記載します。）が挙げられています。また、在宅の方でも、親御さんの高齢化に伴いグループホーム等への期待が出されています。グループホーム等での生活は、地域の中で「普通の暮らし」を営む場所であり、私たちも、グループホーム等は良いところだからという動機付けをしてきました。しかしながら、その実態については、十分な情報を持っていないのも現実あります。中には、「施設に戻りたい」という、今まで考えられなかった声も聞こえてきました。

また、平成18年10月から障害者自立支援法のもとで、グループホーム等が新しい制度でスタートしました。

このような中で、グループホーム等を利用されている方の実際の生活を把握し、地域生活を進める上で何が課題であり、何が必要なかをまとめることをとおして、豊かなグループホーム等での生活が送られることを目的にアンケート調査を実施しました。

II 調査対象と方法

調査は、平成21年7月1日を基準日として、福島県知的障害施設協会に加盟するグループホーム等を利用している463名を調査対象者としてしました。

調査方法は、グループホーム等の事業所へ、定員分のアンケート用紙（本人と事業者記入用・巻末添付）を送り、住居単位で返送してもらいました。調査票の回収率は68%でした。

また、2～3名の研究専門委員がグループとなり、グループホーム等を訪問し、利用者から直接聞き取りを併せて実施しました。

調査対象者数

	福島県全体	対象箇所数	回答数	回収率
事業所数	74	27	24	88.8
住居数	221	97	—	—
定員数	1,064	463	315	68.0

※福島県全体： 福島県保健福祉部関連施設名簿〔平成21年3月現在〕より
（グループホーム・ケアホームで知的・精神を含む）

※対象箇所数： 福島県知的障害施設協会所属団体数

Ⅲ 結果と考察

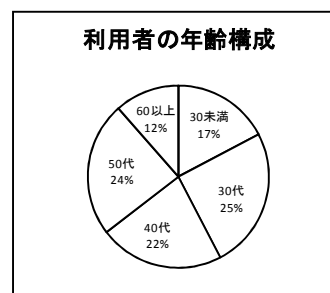
概要

全体の回答数は、315人であるが、それぞれの有効回答数でもって、各設問の回答数としました。性別、年代別の状況は次に示すとおり、男性が63%女性が37%でした。年代別にみると、30代から50代と同程度の利用がみられました。平均年齢は、男性42歳、女性44歳、全体が43歳であり、性別による利用者の違いはほとんど見られませんでした。

障がいの程度を、療育手帳でみると、手帳A所持者が18%、手帳B所持者が81%と、手帳B利用者が多い状況が見られました。

ホーム利用にあたって、年齢との関係からみると、入所施設から入ってきた人が多く（30年までの利用が多い）、入所施設退所後、在宅生活10年以内でホームを利用する方が多くみられた。

家族の状況（帰省先）としては、平均年齢43歳ということからみて、利用者が50代以上では、兄弟姉妹の家族が多くみられた。



(1) 性別と年齢

性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	1	30	42	42	41	13	2	171
女性		16	26	18	24	15	1	100
計	1	46	68	60	65	28	3	271

割合 (%)・・・全体人数に対する割合

性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	0.3	11.0	15.4	15.4	15.1	4.7	0.7	63.0
女性	0.0	5.9	9.5	6.6	8.8	5.5	0.3	36.9
計	0.3	16.9	25.0	22.1	23.9	10.3	1.1	100.0

(2) 障がいの程度

療育手帳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	計
手帳A		6	14	6	15	7	2	1	51
手帳B	1	41	54	54	49	21		2	222
計	1	47	68	60	64	28	2	3	273

割合 (%)

療育手帳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	計
手帳A	0.0	2.0	5.0	2.0	5.0	2.0	0.0	0.0	18.0
手帳B	0.0	15.0	19.0	19.0	17.0	7.0	0.0	0.0	81.0
計	0.0	17.0	24.0	21.0	23.0	10.0	0.0	1.0	100.0

(3) ホーム利用前の入所施設利用年数

入所施設年数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
10年未満		10	11	11	18	2		52
10年以上		5	13	10	14	3	2	47
20年以上		2	15	13	3	3		36
30年以上			4	4	7		1	16
40年以上				2	2			4
計	0	17	43	40	44	8	3	155

割合

入所施設年数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
10年未満	0.0	6.4	7.0	7.0	11.6	1.2	0.0	33.5
10年以上	0.0	3.2	8.3	6.4	9.0	1.9	1.2	30.3
20年以上	0.0	1.2	9.6	8.3	1.9	1.9	0.0	23.2
30年以上	0.0	0.0	2.5	2.5	4.5	0.0	0.6	10.3
40年以上	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	2.5
計	0.0	10.9	27.7	25.8	28.3	5.1	1.9	100.0

(4) ホーム利用前の在宅生活年数

在宅年数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
10年未満		14	21	17	12	5		69
10年以上	1	8	2		4	1		16
20年以上		9	3	2	2			16
30年以上			10	7	7	1		25
40年以上				6	14	1		21
50年以上					13	4	2	19
60年以上						11		11
計	1	31	36	32	52	23	2	177

割合

在宅年数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
10年未満	0.0	7.9	11.8	9.6	6.7	2.8	0.0	38.9
10年以上	0.5	4.5	1.1	0.0	2.2	0.5	0.0	9.0
20年以上	0.0	5.0	1.6	1.1	1.1	0.0	0.0	9.0
30年以上	0.0	0.0	5.6	3.9	3.9	0.5	0.0	14.1
40年以上	0.0	0.0	0.0	3.3	7.9	0.5	0.0	11.8
50年以上	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	2.2	1.1	10.7
60年以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0	6.2
計	0.5	17.5	20.3	18.0	29.3	12.9	1.1	100.0

(5) 家族状況 (帰省先)

(重複回答あり)

帰省先	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	全体
親	1	39	46	34	15	4		2	141
兄弟姉妹		4	22	16	45	19	3	1	110
その他		6	5	8	6	3			28
計	1	49	73	58	66	26	3	3	279

割合 (%)

帰省先	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	全体
親	0.3	13.9	16.4	12.1	5.3	1.4	0.0	0.7	50.5
兄弟姉妹	0.0	1.4	7.8	5.7	16.1	6.8	1.0	0.3	39.4
その他	0.0	2.1	1.7	2.8	2.1	1.0	0.0	0.0	10.0
計	0.3	17.5	26.1	20.7	23.6	9.3	1.0	1.0	100.0

1. 収入の状況

(1) 年金

障がい基礎年金1級の者が30%いるということの評価すべきか、2級年金の者が70%いることは、経済的に大変であるとみるかは、評価が分かれるところである。

年金受給

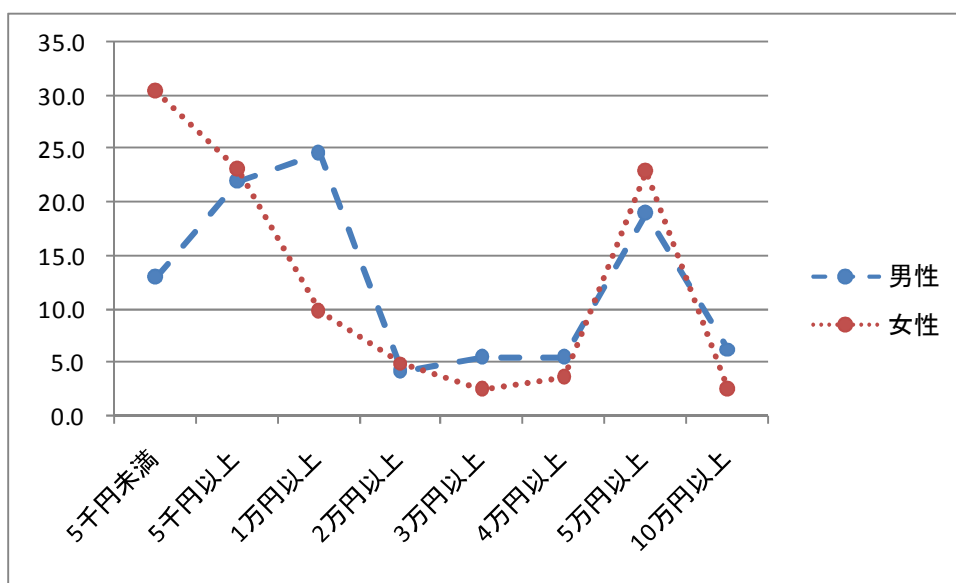
年金	人数	割合 (%)	備考
1級	71	28.6	月 82,508円
2級	169	68.1	月 66,008円
その他	8	3.2	
計	248	100.0	

(2) 給与・工賃(手取り月額)

給与を平均で見ると、男性が約30,000円、女性が約27,000円、全体で27,800円となった。しかし、給与額の分布をみると、5千円から1万円が最も多く、2万円以下をみると62%にもなっている。さらに、性別で分布をみても、男性の方がわずかであるが高い方にシフトしているのが分かる。

給与・工賃の割合

給与・工賃	男性	女性	不明	計
5千円未満	13.0	30.4	26.6	20.0
5千円以上	21.9	23.1	23.3	22.4
1万円以上	24.6	9.7	23.3	19.7
2万円以上	4.1	4.8	6.6	4.6
3万円以上	5.4	2.4	3.3	4.2
4万円以上	5.4	3.6	0.0	4.2
5万円以上	19.0	22.9	13.2	19.6
10万円以上	6.1	2.4	3.3	4.6
計	99.5	99.3	99.6	99.3



(3) その他の収入

その他の収入として記入した者は、全体で2名（4万円と2千円）であり、家族からの仕送りなどは、今回の調査では挙がってこなかった。

これらから、利用者は、年金と給与工賃のみで生活をしていることが、改めて確認された。

2. 支出の状況

(1) 一ヶ月で遊びや買い物など自分の楽しみに使うのはいくらですか。

全体的には、1万円未満が40%を占めており、収入とのバランスをとりながら使っているのが分かる。その中でも、女性の半数が1万円未満であるのが特徴的であった。

特に、収入合計額が8万円以上10万円未満をみると、年金1級受給者が67%占めており、買物額1万円未満が50%を超えていた。

買物額の割合

買物額	1万円未満	1万円以上	2万円以上	3万円以上	計
男性	29.4	29.4	28.1	13.0	100.0
女性	49.4	24.1	16.4	9.8	100.0
計	39.3	27.2	22.7	10.6	100.0

※参考：収入額と買物額との関係

収入額	1万円未満	1万円以上	2万円以上	3万円以上	計
60,000円以上	30.4	41.4	18.2	9.7	100.0
80,000円以上	51.3	32.4	12.1	4.0	100.0
100,000円以上	8.8	17.7	51.1	22.2	100.0
150,000円以上	9.5	19.0	42.8	28.5	100.0

(2) 家賃・食費・水光熱費・共益費などのホーム生活費合計

生活費合計の割合（事業所回答）

性別	2万円以上	3万円以上	4万円以上	5万円以上	6万円以上	7万円以上	8万円以上	計
男性	3.5	23.9	50.8	14.3	4.7	0.0	2.3	100.0
女性	4.2	20.2	40.4	27.6	5.3	2.1	0.0	100.0
計	3.8	22.6	47.1	19.1	4.9	0.7	1.5	100.0

(3) 通勤などの交通費

交通費の割合（事業所回答）

性別	5千円未満	5千円以上	1万円以上	2万円以上	計
男性	26.1	45.2	23.8	4.7	100.0
女性	13.0	60.8	13.0	13.0	100.0
計	21.5	50.7	20.0	7.6	100.0

(4) 施設・金銭管理・権利擁護事業などの福祉サービス利用料

福祉サービス利用料の割合（事業所回答）

性別	5千円未満	5千円以上	1万円以上	2万円以上	計
男性	61.1	18.2	19.0	1.5	100.0
女性	71.0	21.6	7.2	0.0	100.0
計	65.0	19.6	14.3	0.9	100.0

(5) 遊びや買い物など自分の楽しみに使う費用

遊びや買い物費用の割合（事業所回答）

性別	1万円未満	1万円以上	2万円以上	3万円以上	4万円以上	計
男性	10.6	42.7	22.1	17.5	6.8	100.0
女性	12.6	41.7	36.7	8.8	0.0	100.0
計	11.4	42.3	27.6	14.2	4.2	100.0

(6) 収入合計と支出合計の関係

収入合計と支出合計との関係割合

収入合計	支出合計				計
	3万円未満	3万円以上	5万円以上	8万円以上	
60,000円以上	2.2	20.6	72.4	4.5	100.0
80,000円以上	0.0	18.8	66.6	14.4	100.0
100,000円以上	0.0	2.1	61.7	36.1	100.0
150,000円以上	0.0	0.0	66.6	33.3	100.0
計	0.8	14.2	67.8	16.9	100.0

3. 休日の過ごし方

(1) 休日は楽しいですか。

性別による割合

性別	男性	女性	全体
楽しい	95.2	92.7	94.3
楽しくない	4.7	7.2	5.6
計	100.0	100.0	100.0

年齢による割合

年齢区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
楽しい	100.0	91.3	98.5	91.6	96.6	88.0	100.0	94.2
楽しくない	0.0	8.6	1.4	8.3	3.3	12.0	0.0	5.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 休日は主に何をしますか。

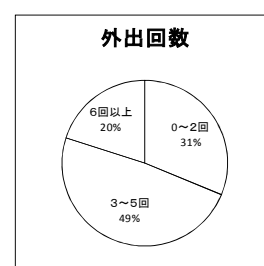
買い物や外食、カラオケなど外出している人は36%であるが、54%の人が主にホームで過ごしていた。

	男性	女性	全体
ホームの掃除や洗濯	24.4	25.8	25.0
ホームで仲間と過ごす	17.6	26.8	21.4
ホームで世話人さんや職員と過ごす	6.1	9.2	7.4
外出して遊ぶ（買い物、食事、カラオケ、映画など）	38.6	32.1	36.0
帰省する	10.5	5.3	8.4
その他	2.7	0.4	1.8
計	100.0	100.0	100.0

(3) 遊びなど楽しみのために一ヶ月にだいたい何回出かけますか。

月に2回までの人が、30%を超えており、普通の生活をという目的からみて、その要因を探ることは重要である。専門委員の見方として、移動の手段がないことが大きいと思われる。

外出回数	男性	女性	全体
0～2回	26.6	38.8	31.2
3～5回	51.3	44.4	48.7
6回以上	22.0	16.6	20.0
計	100.0	100.0	100.0



(4) 外出は主に誰としますか。

世話人が20%を超えているが、買物等で一緒に出かけることがあると思われる。一方、ホーム仲間との外出は、あくまでも同居人としての付き合いなのか、専門委員の見方として、お互い移動の手段がないために出かけられないのかが考えられる。

一緒に行く人	男性	女性	全体
世話人	22.8	18.7	21.2
ヘルパー	8.4	10.0	9.0
ホームの仲間	19.6	32.5	24.6
ホーム職員	9.2	15.6	11.7
施設職員	5.6	4.3	5.1
家族	5.2	3.7	4.6
ボランティア	0.8	0.0	0.4
その他	28.4	15.0	23.1
計	100.0	100.0	100.0

(5) 買い物では主に何を買いますか。

お菓子などの嗜好品が40%と多かった。服などの買物が20%弱であったが、高価になり、自分だけでは購入できないということもあると思われる。

買物の内容	男性	女性	全体
服や靴、アクセサリーなど自分のほしいもの	12.8	26.7	17.6
お菓子などの食べ物	39.8	42.8	40.8
本	15.7	13.0	14.8
ゲーム	9.2	2.4	6.8
酒	4.9	3.7	4.5
タバコ	5.5	1.8	4.3
その他	11.8	9.3	10.9
計	100.0	100.0	100.0

4. 夜の過ごし方

(1) 夜は主に誰と過しますか。

夕食が終わった後の時間帯は、団らんも見られるが、その後は自分の部屋にいることが多い。

	男性	女性	全体
一人が多い	52.8	35.0	45.6
ホームの仲間と	31.7	40.7	35.3
世話人さんと	14.9	21.4	17.5
職員と	0.4	2.8	1.4
計	100.0	100.0	100.0

(2) 夜の自由な時間は主に何をしますか。

	男性	女性	全体
テレビ	65.6	60.0	63.5
ゲーム	12.5	2.9	8.9
おしゃべり	8.0	18.5	11.9
その他	13.8	18.5	15.5
計	100.0	100.0	100.0

(3) お菓子やコーヒーなどは自由ですか。

	男性	女性	全体
自由に飲める	83.9	82.0	83.2
決められている	16.0	18.0	16.7
計	100.0	100.0	100.0

(4) お酒やタバコは自由ですか。

どちらもできないという回答が35%あった。安全を優先してのことなのか、本人が元々していないのかは判断できなかった。

	男性	女性	全体
お酒もタバコも自由	58.5	40.6	52.4
両方あるいは片方の量が決められている	16.2	4.6	12.2
どちらもできない	25.2	54.6	35.2
計	100.0	100.0	100.0

5. 旅行は行きますか

(1) 主に誰と行きますか。

施設での旅行が50%近くあり、通所施設での行事として参加しているのがある。友達との旅行が12%と低いのは、行きたくとも行けない要因があるのではないかとと思われる。

	男性	女性	全体
施設で	46.1	47.3	46.5
職場で	14.5	14.9	14.6
友達と	12.4	12.2	12.3
家族と	5.1	7.8	6.1
一人で	2.5	0.0	1.6
行かない	13.4	14.9	14.0
その他	5.6	2.6	4.5
計	100.0	100.0	100.0

(2) 年に何回ぐらい行きますか。

	男性	女性	全体
行かない	10.3	16.6	12.7
1回	52.2	53.1	52.5
2～3回	33.5	29.1	31.8
4回以上	3.8	1.0	2.7
計	100.0	100.0	100.0

6. レクリエーションやお祭などには行きますか。

(1) 主にどんなところに行きますか。

	男性	女性	全体
施設のお祭など	49.5	45.1	47.6
職場のお祭など	4.3	8.5	6.1
地域のお祭など	37.3	34.8	36.2
その他	8.6	11.4	9.8
計	100.0	100.0	100.0

(2) 主に誰と行きますか。

	男性	女性	全体
世話人	26.5	26.1	26.3
ヘルパー	6.0	2.4	4.4
ホームの仲間	31.4	34.4	32.7
ホーム職員	10.2	16.7	13.0
施設職員	7.5	8.3	7.9
家族	1.8	1.9	1.9
ボランティア	2.2	1.4	1.9
その他	14.0	8.3	11.5
計	100.0	100.0	100.0

7. 人との交流

(1) よく遊んだり、話したりする人はいますか。

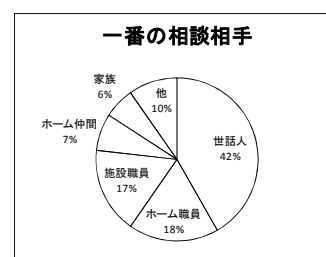
	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
いる	83.8	84.8	84.2	82.0	88.6	84.4
いない	16.1	15.1	15.7	17.9	11.3	15.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) それは誰ですか。

	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
ホームの仲間	24.7	26.8	25.5	30.1	33.5	31.4
職場の仲間	8.0	6.9	7.6	9.2	8.1	8.8
職場の上司	4.0	1.7	3.1	1.2	0.5	1.0
施設の仲間	7.2	8.2	7.6	13.6	15.6	14.4
世話人さん	27.2	23.8	25.9	19.6	16.7	18.6
ホーム職員	10.7	10.8	10.7	12.3	11.8	12.2
施設職員	10.5	8.2	9.6	8.5	7.0	8.0
家族	3.5	5.1	4.1	2.8	2.7	2.8
近所の人	2.4	2.5	2.4	0.6	0.0	0.4
ボランティア	0.2	0.0	0.1	-	-	-
その他	1.0	5.6	2.8	1.5	3.7	2.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 一番の相談相手はだれですか。

利用者の回答を見ると、友人として26%の者が挙げているが、相談相手としては7%にとどまり、世話人・ホーム職員・施設職員が76%をしめている。



	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
ホームの仲間	6.8	8.2	7.3	5.0	3.7	4.5
職場の仲間	2.0	2.2	2.1	0.3	0.6	0.4
職場の上司	2.3	3.3	2.7	2.3	1.2	1.9
施設の仲間	1.7	1.1	1.4	3.0	1.8	2.6
世話人さん	40.9	42.5	41.5	48.8	45.5	47.7
ホーム職員	17.0	19.3	17.9	17.0	20.2	18.1
施設職員	20.1	12.1	17.0	15.3	20.2	17.0
家族	5.4	7.1	6.1	7.6	3.7	6.3
近所の人	1.7	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
ボランティア	0.0	0.5	0.2	-	-	-
その他	1.7	3.3	2.3	0.3	2.5	1.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 相談したいときにすぐに出来ますか。

	男性	女性	全体
すぐに相談できる	90.3	87.7	89.3
すぐには出来ない	8.4	12.2	9.8
だいたい日後	1.2	0.0	0.7
計	100.0	100.0	100.0

(5) 相談の方法は

	男性	女性	全体
電話	23.8	24.1	23.9
会って	75.6	71.5	74.1
その他	0.5	4.3	1.9
計	100.0	100.0	100.0

8. 衛生面について

(1) お風呂は毎日入りますか

	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
はい	97.1	90.9	94.8	89.0	85.8	87.8
いいえ(週に何日)	2.8	9.0	5.1	-	-	-
4～6回	-	-	-	5.2	12.1	7.7
2～3回	-	-	-	4.6	1.0	3.3
1回	-	-	-	1.1	1.0	1.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 洗濯は主に誰がしますか。

	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
自分	86.5	80.9	84.4	88.2	80.1	85.2
世話人	11.8	13.6	12.5	11.2	13.5	12.0
職員	0.5	1.8	1.0	0.5	1.8	1.0
その他	1.0	3.6	2.0	0.0	4.5	1.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 掃除は主に誰がしますか。

	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
自分	73.3	73.3	73.3	70.1	72.1	70.8
世話人	23.8	22.5	23.3	26.5	23.7	25.5
職員	1.9	1.6	1.8	1.4	3.2	2.1
その他	0.9	2.5	1.5	1.8	0.8	1.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 散髪はどのくらいしますか。

3ヶ月に1回というのが15%もあり、少ないと思われる。

	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
月に1回以上	23.3	23.0	23.2	29.4	27.0	28.5
2ヶ月に1回	60.8	51.0	57.1	54.3	50.0	52.7
3ヶ月に1回	12.2	17.0	14.0	12.7	19.0	15.0
4ヶ月以上に1回	3.5	9.0	5.5	3.4	4.0	3.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 散髪はどこでしますか。

理容所や美容院以外と答えた方が10%近くあり、どんなふうに行っているのか気になる。誰が切っているのだろうか。

	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
理容所や美容院	89.5	94.1	91.2	92.8	93.1	92.9
施設	2.3	1.9	2.1	1.7	1.9	1.8
ホーム	4.6	2.9	4.0	2.9	3.9	3.3
自宅	1.7	0.9	1.4	1.7	0.9	1.4
その他	1.7	0.0	1.0	0.5	0.0	0.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(6) 爪切りはどのくらいしますか。

3週間以上という人が10%近くあることは、衛生観念が低いのが気になるところである。

	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
週に1回以上	41.7	55.5	46.8	36.4	55.0	43.3
2週間に1回	49.4	33.3	43.4	55.2	42.0	50.3
3週間以上に1回	8.8	11.1	9.6	8.2	3.0	6.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(7) 爪切りは主に誰がしますか。

	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
自分	82.6	61.6	74.5	78.9	64.9	73.5
世話人	10.0	25.0	15.8	15.1	20.5	17.2
職員	4.4	6.2	5.1	1.0	9.4	4.3
家族	0.5	0.0	0.3	2.7	0.8	1.9
その他	2.2	7.1	4.1	2.1	4.2	2.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

9. 日中はどこで活動していますか。

ホームでの活動という回答が、利用者の4%いることは、失業なども関連しているのかと思われる。

	利用者回答			事業者回答		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
会社などの職場	47.6	34.3	42.7	42.6	35.3	40.0
施設	35.4	41.1	37.5	39.8	49.4	43.3
ホーム	1.7	8.8	4.3	0.0	5.0	1.8
その他	15.1	15.6	15.3	17.4	10.1	14.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

10. 食事は好きなものを食べられますか。

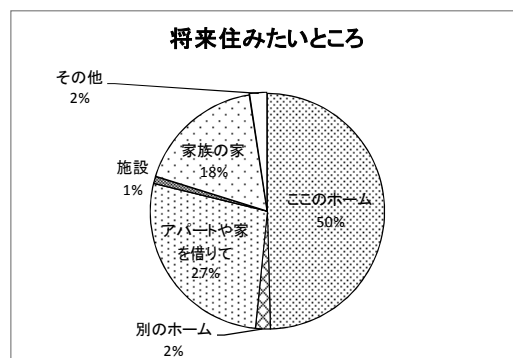
	男性	女性	計
好きなものを毎日食べられる。	47.6	66.0	54.4
週に何回か好きなものを食べられる。	25.8	28.0	26.6
月に何回か好きなものを食べられる。	26.4	6.0	18.8
好きなものはあまり食べられない。	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0

11. グループホームは好きですか。

	男性	女性	計
はい	92.3	90.0	91.4
いいえ	7.6	10.0	8.5
計	100.0	100.0	100.0

12. 将来どこで暮らしたいですか。

「家族の家」が18%あり、家族への思いは強いと思われる。また、約半数が、今の生活スタイルを変えたいという結果も大事である。アパートでの生活が27%ということは、自立心が強くなってきていることが伺える。



	男性	女性	計
このホーム	48.3	51.4	49.4
別のホーム	1.6	2.8	2.0
アパートや家を借りて	25.8	29.5	27.1
施設	1.6	0.0	1.0
家族の家	21.4	11.4	17.7
その他	1.0	4.7	2.4
計	100.0	100.0	100.0

13. 健康管理

(1) 病気・怪我を発見するのは主に誰ですか。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
本人	25.0	38.1	35.7	37.7	35.2	23.1	20.0	34.6
世話人	25.0	36.0	40.1	36.8	33.8	34.7	60.0	36.6
ホーム職員	25.0	13.4	8.0	8.7	13.9	18.8	20.0	12.0
施設職員	0.0	5.1	10.9	11.4	11.7	21.7	0.0	11.3
ホームの仲間	25.0	2.0	0.0	0.8	0.7	1.4	0.0	1.0
職場の人	0.0	4.1	3.6	1.7	4.4	0.0	0.0	3.0
家族	0.0	0.0	0.7	2.6	0.0	0.0	0.0	0.7
その他	0.0	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 通院は主に誰と行きますか。

ヘルパーと回答したのは9%で、世話人・ホーム職員・施設職員で70%を超えているのは、ヘルパー活用が求められるところであるが、症状説明などが必要なことを考えるとやむを得ない。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
一人	0.0	18.1	22.9	23.9	15.3	2.4	0.0	18.2
世話人	50.0	15.1	18.3	18.4	29.6	34.1	0.0	21.9
ヘルパー	0.0	6.0	10.0	7.6	7.6	12.1	25.0	8.6
ホーム職員	50.0	51.5	29.3	29.3	29.6	46.3	50.0	35.0
施設職員	0.0	6.0	18.3	15.2	14.2	4.8	25.0	13.3
家族	0.0	1.5	0.9	5.4	3.2	0.0	0.0	2.4
その他	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 服薬管理は主に誰が行いますか

本人管理が40%というのは、意外であった。数値には出なかったが、おそらく、世話人等が、渡したり確認をしていると思われる。

年代別にみた割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
本人	0.0	43.0	43.2	43.4	30.0	21.2	50.0	38.1
世話人	100.0	43.0	48.4	51.3	61.2	66.6	50.0	52.8
職員	0.0	10.7	7.2	2.6	7.5	9.0	0.0	7.0
その他	0.0	3.0	1.0	2.6	1.2	3.0	0.0	1.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 病気や怪我の時（入院以外）は何処で静養しますか。

年代別にみた割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
ホーム	100.0	91.6	91.5	85.7	88.4	89.6	100.0	89.4
ホーム以外	0.0	8.3	8.4	14.2	11.5	10.3	0.0	10.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 病気や怪我で静養する際は主に誰が付き添いますか。

年代別にみた割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
本人一人	0.0	21.9	17.1	16.6	27.6	21.2	50.0	21.1
世話人	50.0	36.9	42.4	41.6	35.2	40.4	25.0	39.2
ホーム職員	50.0	36.9	30.3	28.1	22.8	31.9	25.0	29.3
施設職員	0.0	1.3	7.0	8.3	8.5	4.2	0.0	6.3
家族	0.0	2.7	3.0	5.2	4.7	0.0	0.0	3.5
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	2.1	0.0	0.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(6) 病気や怪我で入院する際は主に誰が付き添いますか。

家族が22%ということは、家族が高齢になった時とか兄弟の人が就労しているために付き添えない場合、家政婦などが考えられる。しかし、付添ということは本人との意思疎通もあり、また経済的にも大変であり難しいところもある。何らかの公的な制度が望まれる。

年代別にみた割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
本人一人	0.0	20.5	15.9	12.0	17.9	7.6	0.0	15.4
世話人	50.0	11.7	11.7	9.6	20.7	25.6	0.0	15.1
ホーム職員	50.0	38.2	31.9	38.5	26.4	38.4	33.3	33.6
施設職員	0.0	1.4	7.4	10.8	4.7	7.6	0.0	6.3
家族	0.0	20.5	28.7	20.4	21.6	12.8	66.6	22.2
その他	0.0	7.3	4.2	8.4	8.4	7.6	0.0	7.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(7) 定期健康診断はどこでしますか。

年代別にみた割合								
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
施設	0.0	32.0	30.5	33.3	40.0	38.7	0.0	34.2
職場	0.0	24.5	27.7	24.2	6.6	0.0	0.0	17.9
ホーム	100.0	20.7	12.5	22.7	30.6	45.1	100.0	25.2
その他	0.0	20.7	29.1	19.6	22.6	16.1	0.0	22.2
しない	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

14. 各種支援

(1) 金銭管理は主に誰がしますか。

年代別にみた割合								
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
本人	0.0	36.6	26.0	18.1	12.7	5.4	0.0	20.7
世話人	100.0	21.1	26.0	31.3	42.1	59.4	66.6	33.6
ホーム職員	0.0	23.9	19.1	26.2	19.6	16.2	0.0	21.2
施設職員	0.0	11.2	21.7	21.2	20.5	18.9	0.0	19.1
家族	0.0	2.8	3.4	2.0	1.9	0.0	0.0	2.3
その他	0.0	4.2	3.4	1.0	2.9	0.0	33.3	2.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 銀行、役所へは主に誰と行きますか。

年代別にみた割合								
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
本人	0.0	5.5	6.4	3.1	2.7	3.3	0.0	4.2
世話人	0.0	9.2	18.1	10.9	35.1	23.3	66.6	20.1
ホーム職員	100.0	68.5	44.1	50.0	36.4	56.6	33.3	49.1
施設職員	0.0	7.4	27.2	29.6	18.9	16.6	0.0	20.7
家族	0.0	9.2	3.8	6.2	2.7	0.0	0.0	4.6
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 帰省はどの程度しますか。

年代別にみた割合								
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
月に4回以上	100.0	10.6	5.8	5.0	6.1	3.5	0.0	6.6
月に1～3回程度	0.0	19.1	14.7	1.6	6.1	3.5	0.0	9.2
2～3ヵ月に1回程度	0.0	27.6	22.0	16.9	23.0	7.1	33.3	20.6
半年に1回程度	0.0	25.5	27.9	38.9	30.7	35.7	0.0	30.9
年に1回程度	0.0	0.0	4.4	6.7	9.2	3.5	0.0	5.1
ほとんどない	0.0	17.0	25.0	30.5	24.6	46.4	66.6	27.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

グループホーム・ケアホーム 聞き取り調査報告

平成21年9月から11月にかけて、研究専門委員が2・3名のグループに分かれて、県内5地域（県北、県中・県南、会津、相双、いわき）のホームを訪問し、直接聞き取りを実施しました。

【グループA】

1. 見せたいもの
 - ・ 掃除がゆきとどいた自分の部屋。
 - ・ 趣味のカメラで撮ってきた写。
2. 思いを伝える手段（相談や日常会話）
 - ・ 世話人、施設職員。
 - ・ ホームの仲間。
3. 鍵（プライバシー）
 - ・ 個室の鍵は持っていないが特に問題とは思っていない。
 - ・ 必要との訴えにより鍵をつけている利用者あり。
4. 音（ 同 ）
 - ・ 周りの音は特に気にならない。
5. 家族（面会・帰省）
 - ・ ホームを訪問する人はほとんどいない。
 - ・ GW、お盆、お正月の帰省は約7割。
6. 忙しい（時間の余裕）
 - ・ 部屋の掃除、洗濯は自分でしている。
 - ・ 入浴は順番に入る。
 - ・ 休日は買い物に行く。
 - ・ テレビ・ビデオを見て過ごす。
 - ・ 休日に時間がある。

7. 地域の暮らし（前の生活との対比・地域との繋がり）

- ・ 買物に行くことができる。
- ・ 少林寺拳法の道場に通っている。
- ・ 地域の登山サークルに参加している。
- ・ グループホーム周辺地区の行事（クリーン作戦等）に参加している。

8. 楽しいこと・やりたいこと

- ・ 自由な時間がある。
- ・ アルコール類が飲むことができる。

9. その他

- ・ 同一法人内の通所授産施設で働いているが、人間関係などがうまくいかに楽しくない。

<考察>

入所利用者の生活能力にバラつきがあり、果たして幸せかとの疑問も残るが、本人達は楽しそうに暮らしている印象がある。たとえば、休日の日中に、お酒を飲み、赤ら顔で散歩をしたりしている利用者の方もいるので、地域住民の方々は奇異な目で見ているでしょうが、本人は生活を楽しんでいるなど。

【グループB】

1. みせたいもの

職場の写真（自分が写っている）を自室からリビングに持ってきて、見せてくれた方がいる。また、作業所を利用している男性は、毎日スーツとネクタイ姿で通所しているとのことで、そのままの姿で出迎えてくれ、部屋にある数本のネクタイも見せてくれた。自室がこだわりの品（未使用のノートと鉛筆等の文具）でいっぱいになっている方もいて、喜んで収集している文具を披露してくれた。他には、貯金箱、アルバム、自分で買ったCD等を見せてくれる方が多い。共同で使う設備や物品を紹介するよりは、自分だけの持ち物を見せたいという思いが強く感じられる。それらは、リビングに飾ったり置いたりしてある物ではなく、大切に自室にしまっておいた物であった。

2. 思いを伝える手段

ほとんどの方にとって、言葉が思いを伝える手段である。自ら言葉で伝えることが苦手な方も、他の利用者さんや職員に話しかけられると、答えたりうなづいたりして表現する。自分のことをわかってほしいという思いは強いと感じられた。

また、世話人さんや施設職員がホームに来た時に、自分の話を聞いてもらうことを楽しみにしている利用者さんが多いことがわかった。悩みや愚痴を聞いてもらうことによって、落ち着きを取り戻すことができている場合もあるようだ。

欲しい物品をメモに書いて、施設職員の巡回を待って渡すという方法をとっているところもある。

3. 鍵

ほぼ全員が自室の鍵を持ち、自分の部屋を見せてくれる時には、やや誇らしげに開けてくれた。鍵を自己管理していることについては、満足している方が多い。

4. 音

きちんと壁で仕切られた個室であったので、自室にいながら他の部屋の音がうるさいと感じることはほとんどないようだ。自室でお気に入りの音楽をかける、テレビを見るという楽しみ方ができている。

また、皆が集まるリビングの音は2階の廊下にも聞こえるという環境のホームでは、一步自室を出れば、誰がリビングにいるか、何をしているかが音でだいたいわかるので、他の利用者の動きが把握しやすい。

特定の方の声がうるさいという場合もあるようで、音はトラブルの原因となることが多いだろうと感じられた。

5. 引っ越し

在宅生活の後にホームに入居した方、入所施設からホームに移行した方、他のホームで利用者間のトラブルがあり今のホームに移った方等、いろいろである。複数の方が、保護者と暮らしていた自宅から、将来を考えてのホーム入居を親が決めたという話をしてくれた。今も週末毎に自宅に帰っている。

児童期に児童施設に入所し、その後成人施設の利用を経てホームに入居した方にとっては、施設よりは自由度が高くプライバシーが守られる生活の場とはなっている。

6. 家族

家族とのつながり方は、一人一人の抱えている事情が全く異なっている。ある方は、近隣に保護者が住んでいるが、全く交流が持てないでいることを涙を流しながら話してくれた。また、本人は帰省を楽しみにしているものの、父親が病気で倒れ満足な食事を出してもらえないため、今後の帰省も期待できない方がいるという話もあった。週末毎に帰省する方、長期休暇の時には帰省する方、電話や手紙のやりとりはある方等、家族とのつながり方は様々である。ほとんどの方にとって、家族との交流があることは、大きな満足につながっている。

ただ、ホームに家族が来訪することはほとんどないようだ。兄弟姉妹とのつながりも希薄である。

7. 忙しい

朝の起床時間から始まって、一日のスケジュールは一人一人違う。「忙しい」という声は直接聞かれなかったが、就労している方は、結構忙しい毎日だと思われる。近くの通所施設を利用している方は、午後4時前には帰宅しており、夕食前に一人で入浴を済ませている等の時間的な余裕はある。入浴に関しては、皆一人ずつゆっくり時間をかけて入っており、満足しているようである。

洗濯は、全員自分で行い自室に干している。炊事は、休日も含めてほとんど世話人さん任せで、自分の食器のみ洗うという状況である。買物は、ヘルパーと一緒に、施設職員と一緒にいく方が多かった。

8. 施設での暮らし・グループホームでの暮らし

施設職員の顔を見て、入所施設を思い出す方がいて、「〇〇さん元気?」「〇〇先生は

いる？」という質問がでる。「グループホームでの暮らしはいいです」という意見は多く、将来どこで暮らしたいかというアンケートには、ここのホームとの答えが家族の家の2倍であった。アパートや賃貸住宅に暮らしたいという方も若干いるが、就労している程度程度の給料をとっている方である。

9. 地域の暮らし（余暇活動）

余暇活動状況については、個人差が大きい。移動支援を使ってスイミングに通ったり、ボーリング大会に参加する方もいれば、休みの日はほとんどホームに居て出かけないという方もいる。小遣いがなくて出かけられないということではなく、望まないということのようである。

休日に施設職員とコンビニに買い物（菓子や飲み物等）に行くことを楽しみにしているという話も聞かれた。

家庭への帰省や施設主催行事に出かけることはあるが、近所の方や同僚が尋ねてくる機会はないようだ。

<考察>

グループホーム利用者にとって、数少ない知り合いの人の存在と交流は、とても大きな意味をもっている。そもそも多くの人と出会う機会が少ない中で暮らしてきた方々が、入所施設なら少なくとも職員や仲間とのコミュニケーションを毎日とることができるが、グループホームに入居してみたら、訪れる人は世話人さんと施設職員のみという状況であり、ほんとうに限られた人達との交流しかない生活になっている。家族とのつながりが維持できているのかどうかによって、満足度にも影響が出てしまう。家族のいない方、帰省できる家のない方にとって、地域の様々な人達と交流できるような豊かな暮らし方をどう築いていったらいいのだろうと、つくづく考えさせられた。

【グループC】

1. 見せたいもの

- ・ ビデオ・DVD・CD・フィギア・星座図鑑・アイドルのポスター

2. 伝える手段

- ・ 会話・簡単な文字

3. 部屋に鍵は？

- ・ 男性・・・基本的には付いていない。
- ・ 女性・・・出かける際には、外鍵が各部屋にあり、各自管理。

4. 音

- ・ 住宅街にあり、道路・線路が近いため騒音あり。
- ・ 利用者同士の音楽の音等には気をつけ、ヘッドホンをつけたりしているが、時々トラブルに。

5. 引越し

- ・ ほとんどの方が施設入所からホームへ移行。ホームで生活するため、炊事訓練等を行ってから入居。家具のほとんどは頂き物や購入することが多い。

6. 家族

- ・ 男性・・・用事があってたまにホームに来る程度。
- ・ 女性・・・ホームに休日遊びに来る。長期の休みが入った際には、実家に戻る。

7. 地域

- ・ 特に交流はなく、あいさつや回覧板置き程度。地域の祭りには遊びに行く。
- ・ 買い物（商店街）にはよく行くため、店員さんと話をしたりし、顔見知り。
- ・ 訪問者は、家族が多かった。友達・会社の人たまに来る程度。

8. 暮らしやすい？

- ・ 施設にいる時よりも友達と出かけることが多くなり、活動が広がって楽しい。
- ・ 交通機関に乗ることができるようになったので、嬉しい。
- ・ 月に5千～1万円程度のお小遣いがあり、服・おかし・ジュースは各自自由に購入している。
- ・ 特にホームでの行事はなく、お誕生会・ひな祭り程度。

9. 忙しい・ストレス

- ・ ホーム住人との人間関係が難しい。原因は、気が合わない・当番をやらないため。
(世話人がいる間は皆で過ごす、帰宅後は各自部屋で過ごし、トラブルを避けている)
- ・ 当番や入浴順番が決まっているが、特に忙しいとのことは聞かれなかった。それぞれの部屋で過ごすことが多いようで、自由に好きなことをして過ごしている。

10. 仕事は？

- ・ 会社・施設店舗等で平日は働いている。病欠以外特に休むことはない。
(給料がほしいため)

11. 訪問者は？

- ・ 家族が多かった。友達・会社の人たまに来る程度。あまり訪問者はいない。

12. 土日は？

- ・ 障がい者団体の集まりに行く。
- ・ 友達・ヘルパーさんと出かける。
- ・ 近くのお店に買い物に行ったり、寝たりして過ごす。

13. 食事・健康管理

- ・ 男性・・・世話人が用意。月1回体重測定。
- ・ 女性・・・入居者も参加し、調理。体重軽減に取り組んでいる人も。
健康管理については、日中活動の場（施設）で行なっている。

14. ホームでの約束ごと

- ・ 仲良くする
- ・ 日課、約束を守る
- ・ 仕事に行く
- ・ 役割、当番をする
- ・ 男の人をホームに入れない 等

15. 将来は？

- ・ このままホームで生活をしたい
- ・ アパートで暮らしてみたい

<考察>

訪問させていただいた2件のホームは、ほとんどの方が10年以上ホームで生活をして

いるという方が多く、慣れた様子であった。しかし、生活は世話人がいないと各々の部屋に入り、顔をあまり合わせないようにしているとのことであった。理由としては、中には仲が悪く、喧嘩になるからとのこと聞かれ、やはり他人と共同生活をするという難しさを感じた。ホーム内でのルールを作りながら生活をしてきたが、それぞれがストレスを抱え、気を使っているようであった。ホーム内の交流は、世話人を交えないと乏しいというものであった。

ホームは、住宅街に位置していたが、地域の人たちとの交流は挨拶程度でほぼなく、訪問者も少ないとのこと、地域に出たからと言っても必ずしも地域交流が広がるということではないことが今回の訪問で感じた。

今後もホームでの生活希望者が多かったが、ある程度の自由、外出や交通機関に乗る機会が増えたことが一番の理由の様であった。

【グループD】

1. 見せたいもの

- ・ プラモデル作ったり、ミニカーを集めるのが趣味。
- ・ 編み物や縫い物が好きで、自分でマフラー等を作る事もある。
- ・ 携帯電話を持っている人が1名いた。
- ・ 音楽が好きで、暇な時はラジカセで音楽を聴いていることが多い。CDは200枚くらい持っている。
- ・ 世話人に手伝ってもらったが、自分で作った大きなお城のスキル・スクリーンが自慢。
- ・ 旅行や出かけた時に買って集めたキーホルダーが、たくさんある。

2. 思いを伝える手段

- ・ 何かあれば世話人や施設の職員に相談している。
- ・ あまり言えない時には、作業所の職員に話して言ってもらおうようにする。
- ・ ホームの人達とは、あまり色々話しはしない。

3. 鍵

- ・ 部屋には、一人一人鍵が付いている。しかし面倒だから鍵をかけていないという人もいた。
- ・ 夜中勝手に出て行ってしまう人がいるため、ホームに玄関にセンサーを取り付けたのだが、中から自分でスイッチを切る事ができるので、出かける前に切っけて帰ってきたら入れるようにしていた人がいた。

4. 音

- ・ 道路から少し離れているため、車の音は聞こえず静かである。
- ・ 駅が近くなので、電車の音はうるさい事があるものの、あまり気にはならない。
- ・ 部屋で音楽を聴いている時は、ヘッドホンをしている。
- ・ リビングの脇の部屋にいる人は、誰かが夜遅くまでテレビを観ていると、うるさい時もある。

5. 家族について

- ・ 年末年始や連休等に帰る人もいるが、家庭の事情で帰れない人もいた。
- ・ 家族の人はあまり来ないという人もいれば、たまに面会に来てくれるという人も

いた。

6. 忙しい

- ・ 入浴や洗濯、掃除は順番に行っている。
- ・ 炊事当番は、1週間交代で行っている。自分達で献立を考え、材料も自分達で買ってきて作っている。分からないところは世話人にやってもらう。
- ・ 休みの日は、散歩に行ったり掃除をしたり、部屋で音楽を聴いたりしている。
- ・ 二本松の菊人形を見に行ったり、映画を観に行く事もある。
- ・ 休みの日の昼食は、隣町までラーメンを食べに行ったり、リオンドールで寿司を買ってきて食べたりする事もある。それぞれ自分で決めて出かける。また、皆で簡単な物を作って食べる事もある。
- ・ クラシックカーが来たときに見に行った。
- ・ 一人で自転車でかなり遠くまで出かけていく人がいた。
- ・ 毎週金・土曜日には、ビール等を飲んでいる。
- ・ 自分達でクリスマス会や忘年会や旅行を計画し、行事をやっている。職員も協力している。年に何回か他ホームの人も集まって、話し合いをしている。
- ・ 風呂やトイレ等の当番は交代でやるようになっているのだが、やらない人がいるので文句を言い、喧嘩になる事もある。
- ・ 時々買い物に行く事もあるが、一人では行けないので、世話人やホームの人と一緒に出かけている人もいる。また世話人に買ってきてもらう事もある。

7. 地域の暮らし

- ・ 地域のイベントにはどんどん参加している。そこでビールやジュース販売を行っている。安い時に買って通常の値段で売り、儲かったお金で慰労会を行った。
- ・ 町のサークルにも入会して参加している。地区の総会にも参加している。
- ・ 散歩に行って近所の人と話しをしたり、野菜等をもらってくる事もある。
- ・ 地区の奉仕活動にも積極的に参加している。
- ・ 冬期間は、近所の老人の家の雪片付けを手伝ったりしている。
- ・ 自由にテレビを観たり、好きな事ができるので、施設に戻りたいとは思わない。
- ・ 食事の準備や一人で電車等を利用して買い物に行けないので、一人で生活したいとは思わない。このままずっとホームで生活していきたい。

8. 楽しみなこと、やりたいこと

- ・ 一人暮らしをしてみたい。そのために色々頑張っている。
- ・ 最近あまり出かけていないので、皆で温泉に入ったり旅行に行きたい。

9. その他

- ・ 世話人が帰った後に、トラブルになったり殴り合いの喧嘩になったりする事がある。

《考察》

今回グループホームで生活している利用者の話を聞かせていただいて、一番印象に残ったのは、施設にはもう戻りたくないという意見がほとんどだったという事である。自由に好きな事ができるし、施設生活のような制限がない事が良いようである。自分達で話し合っって行事を考え、職員も協力して実行しているところもあり、休みの日も自分で考えて行動している等、地域での生活を自分なりに楽しんでいるという感じを受けた。地域のイベントや行事にも積極的に参加しているため、ある程度住民の理解と協力を得られているのだと思われた。

ただ、どうしても些細な事で利用者間のトラブルが起こったり、自由に行動しすぎて問題となるケースもあるようなので、職員だけではなく世話人さんにも、利用者支援に関する知識と経験が必要であると、改めて感じさせられた。

【グループE】

1. 見せたいもの

- ・ 目覚まし時計 2 個(ディズニーとキティ)、キティの目覚まし時計がお気に入りです
それで起床する。
- ・ ゲーム、ウォークマン
- ・ 携帯電話を持っている(姉から電が入るのを待っている。こちらからは掛けない)。
- ・ ヨークベニマルのスタンプカード
- ・ カセットテープ数十本(入所施設で買ったもの)
- ・ 写真がいっぱい(入所時代のもの、今の通所のもの)
- ・ カセットテープ多数(入所施設の時に買った物)

2. 思いを伝える手段(相談や日常会話)

- ・ 4 人とも困ったことはある…その場合は世話人さん、施設職員、特定の職員(担当など)に相談している。一人だけ職員は忙しそうで話しづらいときがあるから友達に話していると答えていた。
- ・ 職員全員
- ・ ホームのメンバーと話すことはあまりない。あっても食事の時間だけで後は皆自分の部屋に戻ってしまう。
- ・ 母親。
- ・ 友達がいらない、施設ではいっぱい居た(涙ぐむ)。
- ・ 世話人、施設職員。
- ・ 仲間など夕食時に。

3. 鍵(プライバシー)

- ・ 家自体と部屋の鍵を持っている。

4. 音(プライバシー)

- ・ 隣の部屋のテレビの音、音楽の音が気になると答えた人、気にならないと答えた人がいた。
- ・ 皆の邪魔にならないよう、音を小さくしたり静かにしたりと気を使っている。
- ・ 周りの音が気になる。
- ・ 周りの音は気にならない。

- ・ テレビやオーディオの音に気を使い、小さくしている。

5. 家族(面会・帰省)

- ・ 帰省の時(お盆、年末年始)だけ家族が来る。
- ・ 家族は来ないが、ヘルパーさんと帰省する。
- ・ 帰省の時だけ、家よりホームが良い。
- ・ 帰省は年3~4回、一人です。
- ・ お盆、年末年始には家族が迎えに来る。
- ・ 自分からは連絡しない。
- ・ お盆や年末年始は3人が帰って1人になる。
- ・ 家族の訪問は殆どない。
- ・ 自分からは「帰省したい。」と連絡はしない。家族から来るのを待っている。

6. 忙しい(時間の余裕)

- ・ 部屋の片付け、洗濯、掃除は自分で行っている。お風呂やトイレ掃除は得意な人が居るのでその人がしている。
- ・ 通勤に時間がかかる。
- ・ 洗濯は自分で、掃除はやらない(世話人が時々片付ける)。
- ・ トイレ、風呂掃除は世話人さん。
- ・ お風呂の入浴には順番がある。
- ・ 休日は月1回ヘルパーさんと外出してカラオケや買い物に出掛ける。それ以外の休日はほとんどホームの部屋で過ごしてテレビを観たり音楽聴いたりしている。
- ・ 入所施設では早かった入浴が今はのんびり、一人で入れるのが良い。

7. 地域の暮らし(前の生活との対比・地域との繋がり)

- ・ 施設の方が楽しかった。友達もいたし。
- ・ 一人の部屋を持ててうれしい。
- ・ 休日の土曜日は地域を散策、好きなところに行っている。
- ・ お仕事をしている時が一番楽しい。
- ・ 入所施設は時間が決められていたからホームが良い。
- ・ 日曜日はサークル活動(テラス)。
- ・ 外出は一人で。
- ・ いつも挨拶してくれる人がいる。

- ・ BS テレビが見れるからホームが良い。
- ・ 休日はヨーカドーなどで買い物(お昼も買ってくる)。
- ・ 外食はしない。
- ・ 自分の部屋が持てたことが良い。
- ・ 近所の人とは挨拶くらいで、町内のドブ掃除とかはない。
- ・ 野菜を持って来てくれる人が居る(食べきれないからと言って)
- ・ ホームの生活は楽しい。

8. 楽しいこと・やりたいこと

- ・ 外出は1回だけでなくいっぱいしたい。一人での外出は嫌、皆と一緒にがいい。
- ・ 職場でお友達と一緒に居る時が一番楽しい。
- ・ スポーツがやりたい(野球など)。
- ・ CD ラジカセが欲しい。
- ・ ホームで過ごすのがいい。
- ・ 今のホームだけでなく他のグループホームの部屋も見てみたい。
- ・ もっと広い部屋に住みたい。
- ・ ホームの人達と出掛けたいし、他の人達(施設の仲間)と出掛けたい。
- ・ 施設が楽しかった、戻りたいと思うこともある。
- ・ 一人で外出したことがない。もっと外出したい。
- ・ 会社が楽しい。
- ・ 通所施設で給食以外の仕事がしたい(弁当など)。

9. その他

- ・ お金は世話人さんをお願いしていて自分がどれくらい使ったかは分からない。
- ・ 休日のお昼ご飯は世話人さんの買い置き(おにぎりやパン)か、昼に世話人さんが希望を聞いて買ってきてくれる。自分たちで見て食べたい物を購入することはしない。
- ・ 買い物でお菓子や飲み物を買ってきてても自分の居室に持っていくことはしない。台所の戸棚に仕舞って台所で飲食する。
- ・ 現在失業中(会社の都合…その割に明るい)。
- ・ 部屋でお菓子などを食べる。
- ・ 部屋で飲食しない。

- ・ お小遣いがどのくらい使えるのか分からない。

<考察>

～3ヶ所 11人の聞き取りから感じたものは、「人」～

「施設のほう楽しかった」とポツリと話した後で「誰も居なくなったんだ」と永年暮らした入所施設での気心の知れた仲間との別れを寂しがった。

地域生活移行を成し遂げ、入所施設では味わえない自由さを得た反面「人（仲間）」との繋がりが絶たれ、「人」との触れ合いや温もりが少なく、「ひとり」で過ごす時間の長さが増えたことを訴える方が多く存在することが印象的であった。

様々な楽しみを享受できる立場の方々であっても世話人や職員の手がないと外出さえままならない方も多いのが現状のようである

地域生活が入所施設に勝ると感じる理由は、個室や休日の自由さ、工賃や給与などの収入が挙げられる一方、「人」に関しては入所施設への強い思いを抱く方が居るのも事実であった。

はたして、何十年も連れ添った仲間との別れや、その後の彼らの付き合いといった「人」を中心に地域生活移行が進められているだろうか、と我々は自戒の念を持つべきと感じた。

どんなに綺麗な家に住もうとも、食事や余暇の充実など生活が豊かになっても、職員や世話人では得られない「友人」としての気心の知れた仲間の存在や、休日にいつでも一緒に外出できる「人」の存在こそが「地域での普通の生活」には必要なのではないだろうか。

つまり、何処に住んで何をするか以上に「誰と住むか、誰と繋がっているか」が重要であると共に、地域生活移行で仲間が離れざるを得ない場合には、その後の具体的な付き合い方の提示やそれを支援する「人」の存在も重要と思われ、その条件が揃わなくては形だけ（見た目だけ）の地域生活移行となってしまう危惧を大いに孕んでいると感じられた。

まとめ

私は43歳。GHで暮らしています。

療育手帳はB、障害基礎年金は2級で、その他に2万円ほどのお給料があります。

入所施設で10年暮らしましたが、仲間の中には30年以上入所施設にいた人もいて、仲間の4割は、ここに来るまでの地域生活が10年以下で子供の頃から殆どの年月を入所施設で過ごしました。

休みの日、外出するのが楽しみですがヘルパーさんを使うとお金がかかるので、仲間の半分はホームで過ごし、休みの日にお昼を買いに近くのコンビニに行くことも含めても、1カ月に4回くらいしか外出はしていません。

夜は、みんな自分の部屋でテレビを見て過ごし、お茶やコーヒーが自由に飲めない仲間もいますし、ホームによってはお酒やタバコが禁止されているところもあります。

友達と旅行する人は少なく、殆ど施設の旅行です。全然行かない人もいます。

遊ぶときに一緒なのはホームの仲間か世話人さんで、他の友人は殆どいません。

お風呂はだいたい毎日入りますが、1週間に3回以下の人や3週間も爪を切らない人、3か月も散髪しない人もいて、中には施設やホームで散髪している人もいます。

仲間の実家は、半数近くが兄弟姉妹の世帯になっていて、殆どの仲間が数カ月から半年に1回しか帰ることができず、帰れない仲間が3割もいます。

病気や怪我などは、仲間の半数が通う会社などの就職先では見つけてもらうことがあまりなくて、通院の時の付き添いの殆どは、職員や世話人さんです。

健康診断をするのは、会社などよりも施設とホームがほとんどです。

月々のホームの生活費は、家賃や食費、光熱費などを合わせて4万5千円で、通勤や通園などの交通費は3千円、福祉サービスの負担は4千円です。

買い物や遊びに使うお金は1万3千円くらいですが、5千円以下しか使えない仲間も4割近くいます。

今のホームは好きです。でも、将来はアパートや家を借りたり、家族と生活したり、今とは違った生活も考えています。

これが、わたしの生活です。

この内容は、あくまでも調査からの平均的な地域生活者像です。

ひとり一人の違いは当然としても、この内容から「わたし」が営む地域生活の豊かさを皆さんは感じますか？

何が私たちと違うのでしょうか？どうしたら私たちと同じ地域での生活が叶うのでしょうか？その答えは複雑に絡み合って、単純に解決できるものではないでしょう。

ただ、ノーマライゼーションやインクルージョンの観点から、私たちとの生活の違いをきちんと捉え、常に問題意識を持ち続けることを忘れてはいけません。

私たちには、その責任があるのです。

福島県知的障害施設協会更生施設部会 第10期研究専門委員会
調査研究に関する協力依頼 趣意書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当委員会活動につきましては、特段のご高配を賜り感謝にたえないところであります。

さて、当委員会は、平成6年より福島県障がい者総合福祉センター（旧福島県知的障害者更生相談所）との協力のもと、15年に渡り福島県内の知的障害者支援に関する調査研究を行い、8冊の冊子として関係者へ報告してまいりました。

今期（平成20年・21年）は、地域生活に関する調査研究をテーマとし、障害者自立支援法のもとでのグループホーム・ケアホームを利用されている方々の実際を調査し、更に豊かな地域生活の一助となる研究にしたいと考えております。

つきましては、業務多忙のところ大変に恐縮ですが、改めて詳細な調査依頼書等をお送り致しますので、何卒御協力の程をお願い申し上げます。末筆ではございますが、皆様方のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

謹白

平成21年7月3日

福島県知的障害施設協会
更生施設部会（更生施設分科会・通所更生施設分科会合同）

各GH・CH運営法人理事長 様

かん あんけーと
GH・CHに関するアンケート

あんけーと きにゆう どういじこう
アンケート記入についての同意事項

このアンケートでは、あなたの性別や年齢、療育手帳の種別、家族の状況などを職員の方に記入してもらいアンケートにも答えてもらいますが、あなたも職員も名前は記入しませんので誰のアンケートなのかわかりません。

また、全員のアンケートをまとめたものだけを公表し、ひとりひとりのアンケートはシュレッターなどで内容が分からないようにして処分いたします。

この内容に 1. 同意してアンケートに答えます。 2. 同意しません。

きにゆう ちゆういじこう
アンケート記入の注意事項

- ・ 当てはまるものが多い場合には、いくつ〇を付けてもかまいません。
- ・ ご本人1人で難しい場合には、申し訳ありませんが職員がサポートしていただけるようお願いいたします。

ちようきこうもくほんにん こた
＜調査項目＞ ご本人が答えてください。

いっかげつ しゆうにゆう
1、一ヶ月の収入

- | | | | |
|-----|-----------------------------------|----------------|---------------|
| 1-1 | ねんきん
年金 | いっきゅう
1. 一級 | にきゅう
2. 二級 |
| 1-2 | きゅうよ こうちん てど げつがく
給与・工賃（手取り月額） | (|) 円 |
| 1-3 | た
その他 | (|) 円 |

いっかげつ あそ か もの じぶん たの つか
2、一ヶ月で遊びや買い物など自分の楽しみに使うのはいくらですか。() 円

きゅうじつ すご かた
3、休日の過ごし方

- 3-1 休日は楽しいですか。
- | | |
|--------|----------|
| 1. 楽しい | 2. 楽しくない |
|--------|----------|

3-2 休日は主に何をしますか。

1. ホームの掃除や洗濯 2. ホームで仲間と過ごす 3. ホームで世話人さんや職員と過ごす
4. 外出して遊ぶ（買い物、食事、カラオケ、映画など） 5. 帰省する

3-3 遊びなど楽しみのために一ヶ月にだいたい何回出かけますか。（ 回）

3-4 外出は主に誰としますか。

1. 世話人 2. ヘルパー 3. ホームの仲間 4. ホーム職員 5. 施設職員 6. 家族
7. ボランティア 8. その他（ ）

3-5 買い物では主に何を買いますか。

1. 服や靴、アクセサリーなど自分のほしいもの 2. お菓子などの食べ物
3. 本 4. ゲーム 5. 酒 6. タバコ
7. その他（ ）

4、夜の過ごし方

4-1 夜は主に誰と過しますか。

1. 一人が多い 2. ホームの仲間と 3. 世話人さんと 4. 職員と
5. その他（ ）

4-2 夜の自由な時間は主に何をしますか。

1. テレビ 2. ゲーム 3. おしゃべり 4. その他（ ）

4-3 お菓子やコーヒーなどは自由ですか。

1. 自由に飲める 2. 決められている

4-4 お酒やタバコは自由ですか。

1. お酒もタバコも自由 2. 両方あるいは片方の量が決められている
3. どちらもできない

5、旅行は行きますか

5-1 主に誰と行きますか。

1. 施設で 2. 職場で 3. 友達と 4. 家族と 5. 一人で 6. 行かない

5-2 ^{ねん なんかい い} 年に何回ぐらい行きますか。

1. 行かない 2. ^{かい} 1回 3. ^{かい} 2~3回 4. ^{かいじょう} 4回以上

6、^{れくりえーしょん まつり い}レクリエーションやお祭などには行きますか。

6-1 ^{おも い}主にどんなところに行きますか。

1. ^{しせつ まつり}施設のお祭など 2. ^{しょくば まつり}職場のお祭など 3. ^{ちいき まつり}地域のお祭など
4. その他 ()

6-2 ^{おも だれ い}主に誰と行きますか。

1. ^{せわにん}世話人 2. ^{へるぱー}ヘルパー 3. ^{ほーむ なかま}ホームの仲間 4. ^{ほーむしょくいん}ホーム職員 5. ^{しせつしょくいん}施設職員 6. ^{かぞく}家族
7. ^{ぼらんていあ}ボランティア 8. その他 ()

7、^{ひと こうりゆう}人との交流

7-1 ^{あそ はな ひと}よく遊んだり、話したりする人はいますか。

1. いる 2. いない

7-2 ^{だれ}それは誰ですか。

1. ^{ほーむ なかま}ホームの仲間 2. ^{しょくば なかま}職場の仲間 3. ^{しょくば じょうし}職場の上司 4. ^{しせつ なかま}施設の仲間 5. ^{せわにん}世話人さん
6. ^{ほーむしょくいん}ホーム職員 7. ^{しせつしょくいん}施設職員 8. ^{かぞく}家族 9. ^{きんじょ ひと}近所の人 10. ^{ぼらんていあ}ボランティア
11. その他 ()

7-3 ^{いちばん そうだんあいて}一番の相談相手はだれですか。

1. ^{ほーむ なかま}ホームの仲間 2. ^{しょくば なかま}職場の仲間 3. ^{しょくば じょうし}職場の上司 4. ^{しせつ なかま}施設の仲間 5. ^{せわにん}世話人さん
6. ^{ほーむしょくいん}ホーム職員 7. ^{しせつしょくいん}施設職員 8. ^{かぞく}家族 9. ^{きんじょ ひと}近所の人 10. ^{ぼらんていあ}ボランティア
11. その他 ()

7-4 ^{そうだん で き}相談したいときにすぐに出来ますか。

1. ^{そうだん}すぐに相談できる 2. ^{で き}すぐには出来ない 3. だいたい () 日後

7-5 相談の方法は

1. ^{でんわ}電話 2. ^あ会って 3. その他 ()

えいせいめん
8、衛生面について

8-1 お風呂は毎日入りますか

1. はい 2. いいえ (週に 日)

8-2 洗濯は主に誰がしますか。

1. 自分 2. 世話人 3. 職員 4. その他 ()

8-3 掃除は主に誰がしますか。

1. 自分 2. 世話人 3. 職員 4. その他 ()

8-4 散髪はどのくらいしますか。

1. 月に1回以上 2. 2ヶ月に1回 3. 3ヶ月に1回 4. 4ヶ月以上に1回

8-5 散髪はどこでしますか。

1. 理容所や美容院 2. 施設 3. ホーム 4. 自宅 5. その他 ()

8-6 爪切りはどのくらいしますか。

1. 週に1回以上 2. 2週間に1回 3. 3週間以上に1回

8-7 爪切りは主に誰がしますか。

1. 自分 2. 世話人 3. 職員 4. 家族 5. その他 ()

9、日中はどこで活動していますか。

1. 会社などの職場 2. 施設 3. ホーム 4. その他 ()

10、食事は好きなものを食べられますか。

1. 好きなものを毎日食べられる。 2. 週に何回か好きなものを食べられる。
3. 月に何回か好きなものを食べられる。 3. 好きなものはあまり食べられない。

11、グループホームは好きですか。

1. はい 2. いいえ

12、将来どこで暮らしたいですか。

1. ここのホーム 2. 別のホーム 3. アパートや家を借りて 4. 施設 5. 家族の家
6. その他 ()

ありがとうございました。

<調査項目> 事業所職員（サービス管理責任者等）が教えてください。
記入者職名（ ）

<ご本人フェースシート>

- 1、性別 1.男性 2.女性
2、年齢 ()才
3、療育手帳 1. A 2. B
4、ホーム利用前の状況 1.入所施設 ()年 2.在宅を含む地域生活 ()年
5、家族状況（帰省先） 1.親 2.兄弟姉妹 3.その他 ()
6、出身地（市町村） ()
7、居住地（市町村） ()

1、健康管理

- 1-1 病気・怪我を発見するのは主に誰ですか。
1.本人 2.世話人 3.ホーム職員 4.施設職員 5.ホームの仲間 6.職場の人 7.家族
8.その他 ()
- 1-2 通院は主に誰と行きますか。
1.一人 2.世話人 3.ヘルパー 4.ホーム職員 5.施設職員 6.家族
7.その他 ()
- 1-3 服薬管理は主に誰が行いますか
1.本人 2.世話人 3.職員 4.その他 ()
- 1-4 病気や怪我の時（入院以外）は何処で静養しますか。
1.ホーム 2.ホーム以外 ()
- 1-5 病気や怪我で静養する際は主に誰が付き添いますか。
1.本人一人 2.世話人 3.ホーム職員 4.施設職員 5.家族 6.その他
()
- 1-6 病気や怪我で入院する際は主に誰が付き添いますか。
1.本人一人 2.世話人 3.ホーム職員 4.施設職員 5.家族 6.その他
()
- 1-7 定期健康診断はどこでしますか。
1.施設 2.職場 3.ホーム 4.その他 () 5.しない

2、各種支援

- 2-1 金銭管理は主に誰がしますか。
1.本人 2.世話人 3.ホーム職員 4.施設職員 5.家族 6.その他
()
- 2-2 銀行、役所へは主に誰と行きますか。
1.本人 2.世話人 3.ホーム職員 4.施設職員 5.家族
6.その他 ()

2-3 帰省はどの程度しますか。

1. 月に4回以上 2. 月に1~3回程度 3. 2~3ヵ月に1回程度 4. 半年に1回程度
5. 年に1回程度 6. ほとんどない

3、衛生管理

3-1 入浴の頻度（一週間に）

1. 7回以上 2. 4~6回 3. 2~3回 4. 1回

3-2 洗濯は主に誰がしますか。

1. 本人 2. 世話人 3. 職員 4. その他（ ）

3-3 掃除は主に誰がしますか。

1. 本人 2. 世話人さん 3. 職員 4. その他（ ）

3-4 散髪の頻度

1. 月に1回以上 2. 2ヶ月に一回 3. 3ヵ月に1回 4. 4ヶ月以上に1回

3-5 散髪の場所

1. 理容所や美容院 2. 施設 3. ホーム 4. 自宅 5. その他（ ）

3-6 爪切りの頻度

1. 週に1回以上 2. 2週間に1回 3. 3週間以上に1回

3-7 爪切りは主に誰がしますか。

1. 本人 2. 世話人さん 3. 職員 4. 家族 5. その他（ ）

4、一ヶ月の支出

- 2-1 家賃・食費・水光熱費・共益費などのホーム生活費合計 (円)
2-2 通勤などの交通費 (円)
2-3 施設・金銭管理・権利擁護事業などの福祉サービス利用料 (円)
2-4 遊びや買い物など自分の楽しみに使う費用 (円)

5、交流

4-1 親しい友人はいると思いますか。

1. いる 2. いない

4-2 それは誰だと思えますか。

1. ホームの仲間 2. 職場の仲間 3. 職場の上司 4. 施設の仲間 5. 世話人さん
6. ホーム職員 7. 施設職員 8. 家族 9. 近所の人 10. その他（ ）

4-3 一番の相談相手は誰だと思えますか。

1. ホームの仲間 2. 職場の仲間 3. 職場の上司 4. 施設の仲間 5. 世話人さん
6. ホーム職員 7. 施設職員 8. 家族 9. 近所の人 10. その他（ ）

6、日中活動 1. 職場 2. 施設 3. ホーム 4. その他（ ） 5. なし

ありがとうございました。

あとがき

地域生活移行の真のあるべき姿はどのような事だろうか。長い間、入所生活をしてきた彼らがGH（グループホーム）・CH（ケアホーム）で生活をして地域生活を楽しんでいると誰もが考えていました。

はたしてその実態は？という疑問から、第1回研究専門委員会を平成20年10月に開催しました。利用者の本音をどう引き出すかを課題としながらの委員会でした。

時間がもっとあれば、より深く利用者の声が表面化することができたと思われませんが、本音の大切な部分だけは捉えることができました。

今後の利用者の地域生活移行に少しでも私たちの調査研究が参考として活用していただければ幸いです。

2年間で9回の委員会とアンケート調査、及び、本人から直接聞き取る実態調査と専門委員の皆様の尽力はもとより、調査に協力していただいた関係者、また、会議場・資料等を提供して下さった福島県障がい者総合福祉センターの皆様に厚く御礼申し上げます。

平成22年1月

福島県知的障害施設協会
更生施設部会（入所・通所更生施設分科会合同協議会）
第10期研究専門委員

飛田 瑞穂	福島県障がい者総合福祉センター	主任心理判定員
大塚 真弓	福島県障がい者総合福祉センター	副主任心理判定員
遠藤 孝松	石川共生園	施設長
古川 敬	いわき希望の園	施設長
中川 恭子	宇津峰十字の里	施設長
七宮 弘	菊の里	施設長
長谷川 吉則	大萱荘	生活支援員
近藤 利恵	オープンハウス白河	支援員
花井 靖	東洋育成園	支援員
大竹 浩光	あかまつ荘	副主任生活支援員
中井 昭一	はまぎく荘	副主任支援員